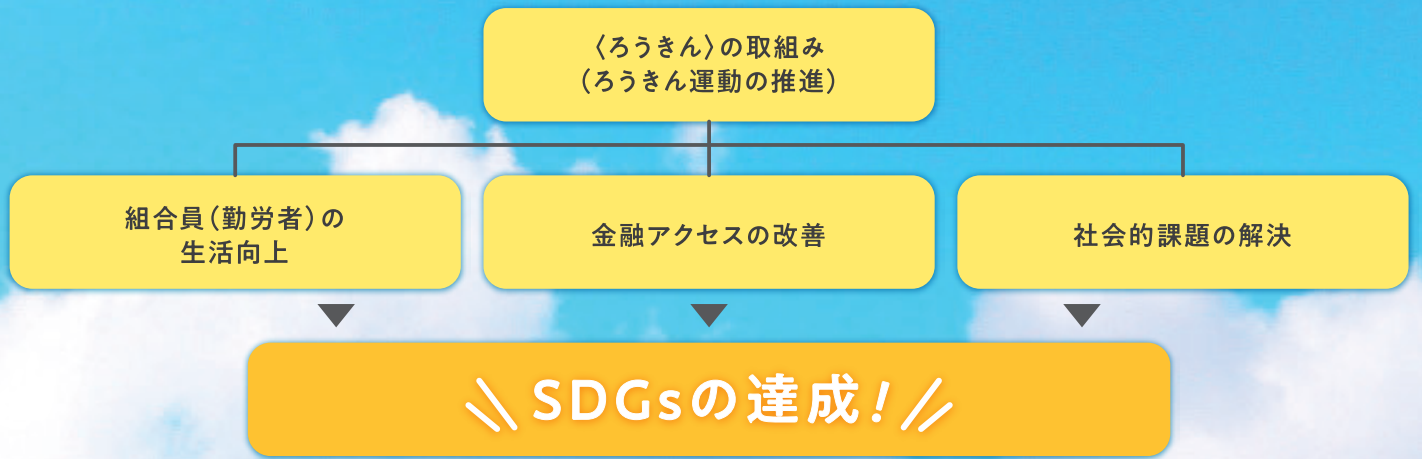


「誰一人取り残さない」。

〈ろうきん〉は、みなさまと一緒に取り組む「ろうきん運動」を通じてSDGsの達成に貢献します。

〈ろうきん〉の設立経過や理念・ビジョンは、SDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」や、すべての人々が必要な金融サービスにアクセスできる状況をめざす「金融包摂」の考え方と合致するものです。

〈ろうきん〉は「ろうきん運動を通じた勤労者の生活向上」という使命を徹底追及することを通じて、これからも金融機関としての役割発揮と社会への貢献を図っていきます。



ろうきんSDGs 行動指針

- 勤労者の生涯における生活向上をサポート
- 労働運動やESG投資の実践を通じた「意志のあるお金」による社会的好循環の創出
- 非営利・協同セクターとの連携強化による社会課題の解決
- SDGsの達成に向けた「共感の輪」の拡大

SDGs (Sustainable Development Goals) とは /

世界では環境汚染や格差問題など、全世界で取り組まなければならない多くの課題が残されています。2015年、それらさまざまな課題に対して、17のゴールと169のターゲットからなる国際開発目標「SDGs(持続可能な開発目標)」が国連において日本を含む世界193カ国の合意のもと採択されました。SDGsは2030年までに達成すべき目標とされ、わが国でも2016年、政府に「SDGs推進本部」が設置され、国や自治体、企業やNPO、市民、さまざまな人々を巻き込んで「SDGs」目標達成のための活動が始まっています。



1 貧困をなくそう	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	13 気候変動に具体的な対策を
2 飢餓をゼロに	8 働きがいも経済成長も	14 海の豊かさを守ろう
3 すべての人に健康と福祉を	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	15 陸の豊かさを守ろう
4 質の高い教育をみんなに	10 人や国の不平等をなくそう	16 平和と公正をすべての人に
5 ジェンダー平等を実現しよう	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナーシップで目標を達成しよう
6 安全な水とトイレを世界中に	12 つくる責任 つかう責任	